

食品ロスを減らすには

広島市立戸坂中学校 三年 浅野 絢美

食べることが好きだ。

どのくらいかといえば、朝ごはんが終われ

ば昼ごはんが、昼ごはんが終われば夜ごはん

が、眠りにつく前は朝ごはんが楽しみで日々

過ごしている。ただ食べるだけじゃなくて、学校

でたくさん勉強して、遊んだ後に食べるご飯

がおいしい。さらに、家族みんなで食べるご

飯はもっと格別だ。私はごはんが幸せだから

ついつい食事に時間がかかっちゃいきい、気付

けばみんな食べ終わっちゃいるけれど、私はお

母さんを呼びとめて、食べ終わるまで一緒に

いてもらう。そんな夜ごはんを朝からワクワ

クしながら待っている。

そんな私でも、食についてでも悩むこと

がある。それは、飲食店やスーパーなどで起

こっちゃしてしまう大量の食品ロスである。私の身

近なところでは、学校でも目にしています。

昼ごはんの際、デリバリ給食のごはんを

残したり、お米を食べなかつたりする人がい  
る、もちろん、人それぞれ食の好みもあるし、  
量が多いと感じる人もいると思う。ただ、こ  
んなにもたくさんのごはんが捨てられてしま  
っているというときには、どうにかしたいとい  
う思いと、でもどうしたらよいのか分からな  
いという思いで、もどかしさがつあつていく  
ばかりだ。

思い返せば私も、昔から食べることを大好  
きだ。たぶん、お米の味に飽きた

と感じることや、ごはんを食べたくないとき  
もあった。そんな私が食べることを大好きに  
なったのは、やはり野菜を育て始めたことが  
きっかけだと思う。実際に自分で食べるもの  
を、自分で育てるという体験で、日々の食事に  
にありがたみを感じるようになったと思う。  
小さい頃からは、ごはんに感謝しなさい、お  
米は苦学がつかつかでできていたんだよと教え  
てもらって、いたけれど、食べるものを実際に  
育ててみるまで食について考える機会はなかつ



と言われたことがあ  
るように、感謝は伝  
わるもので、おしい  
という言葉は、みな  
が幸せになるまほう  
の言葉だと思います。

具体明には食品ロス  
がどうすれば減るのか  
分からないけれど、ご  
はんが好きだという人  
が増えていけば減って  
いくと思います。